

☆プラスチック廃棄物の現状から、講師らが実際に検討している成果を踏まえながら解決方を解説する

プラスチックリサイクル技術の現状・課題・最新動向

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2412107>

◆日時: 2024年12月17日(火) 13:00~16:00

◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 山形大学 大学院有機材料システム研究科 准教授 博士(工学) 高山 哲生 氏

【習得知識】

- ・プラスチック廃棄物の現状と近未来に待ち構えている問題
- ・マテリアルリサイクルの基本的な考え方と技術
- ・今後のプラスチック系複合材料に要求される特性

【講座の趣旨】

マイクロプラスチックが海洋へ流れ込み生態系を脅かそうとしている現状では、プラスチックの立ち位置は「軽い・錆びない・安い」便利な材料からその特徴のために「環境を汚染する」問題を抱えた材料へ移りつつあります。ただし、情勢が変わろうともプラスチックが便利なことに変わりはなく、今後は生活の質を損なうことなく、環境に寄り添った方針で向き合っていく必要があります。

本セミナーでは、プラスチック廃棄物の現状を知り、今後待ち受けている課題を講師の視点から挙げます。挙げた課題に関して、プラスチック物性の観点から考察し、講師らが実際に検討している成果を踏まえながらその解決方を解説します。

【プログラム】

1. プラスチック廃棄物の現状を知る
 - 1.1 プラスチック廃棄物とは
 - 1.2 日本はリサイクル率が高い?!
 - 1.3 容器包装材のリサイクル
 - 1.4 自動車部品のリサイクル
 - 1.5 今後待ち受けている課題と要求される材料物性
2. プラスチック系複合材料の改質技術
 - 2.1 ポリマーブレンド
 - 2.1.1 エラストマー分散による強靱化
 - 2.1.2 硬質ポリマー分散による延性化
 - 2.1.3 反応相容化
 - 2.2 無機繊維強化
 - 2.2.1 複合則
 - 2.2.2 強度発現機構
 - 2.2.3 衝撃吸収特性
3. メカニカルリサイクルに関する検討
 - 3.1 メカニカルリサイクルの困難さ
 - 3.1.1 製品であったこと
 - 3.1.2 組成が簡単にわからない
 - 3.1.3 安く作れないと使ってもらえない
 - 3.1.4 より良くないと魅力半減
 - 3.2 検討しているリサイクル方策
 - 3.2.1 従来のメカニカルリサイクル手法
 - 3.2.2 アップグレードリサイクル
 - (1) ドライブレンディング
 - (2) 2次処理
 - 3.2.3 有機繊維強化
 - (1) 無機繊維との相違点

『プラスチックリサイクル【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>